

2016年6月17日

各位

三井化学株式会社

「田んぼの生きもの調査」を小学生とともに実施しました

当社（社長：淡輪 敏）の100%子会社である三井化学アグロ株式会社（社長：谷 和功）は、6月14日（火）、JAあさひな（宮城県黒川郡大和町）と共催で「田んぼの生きもの調査」を実施しました。

本調査は、三井化学アグロの企業理念「環境安全」に対応した「高品質の製品サービスをお客様に提供、貢献することを通じて社会に責任を果たす」取り組みの一つとして実施しています。農薬を販売するだけでなく、JA、農業生産法人、農家や消費者の方々と田んぼに入り、生きもの調査を体験しながら、これからの農業や食、環境について真剣に考えていく活動で、2012年から毎年実施しているものです。

今回の調査では、大和町立鶴巣小学校の3年生児童14名も参加し、水田で多様な生き物を観察し、環境と共存しながらのお米作りの重要性について学習しました。また、調査の結果、19種の生き物が観察され、子供たちからは「ゲンジボタルをはじめて見た」「ヤゴを捕まえられてうれしい」「大きなザリガニを捕まえられて楽しかった」「こんなにたくさんの種類の生き物がいて驚いた」といった感想が寄せられました。

三井化学アグロでは農薬を販売するだけでなく、農薬が使用された水田の生き物に及ぼす影響を調査し、製品の改善や開発に役立てています。また、生き物調査の結果をまとめた「鑑定書」を発行することで、多様な生き物が生息する水田で作られた米であることを証明し、地域の米の付加価値向上に貢献しています。

日時：6月14日（火）9：30～11：30

場所：宮城県黒川郡大和町

参加者数：44名



また、三井化学グループは、今後もこうした活動を通じて、子供たちに食育や、生物多様性について学ぶ機会を提供してまいります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部（TEL：03-6253-2100）